

奥日光：自然

中禅寺湖から湯ノ湖までが奥日光と呼ばれている。標高 1,300～1,500 メートルは、日光の他の地域よりも高く、豊富な動植物は高原地帯の典型である。

中禅寺湖に映る神聖な男体山の雄大な光景がいろは坂の頂上で訪れる観光客を出迎える。近くには、日本で最も美しい3つの滝の1つとして知られる華厳の滝がある。華厳の滝は最も激しい滝の1つであり、大きな水流が 100 メートル近くの高さから流れ落ちている。奥日光には、竜頭の滝と湯滝もある。

さらに北には、戦場ヶ原と小田代原の湿地、湯川、湯ノ湖があり、これらはすべてラムサール条約の下で国際的に重要な湿地として登録されており、多くの種類の植生や野鳥の生息地として保護されている。訪問者は木道の遊歩道をハイキングし、バードウォッチングを楽しむこともできる。

その北側に続く湯本温泉は、湯ノ湖のほとりに沿って広がる温泉旅館の村である。湯本温泉は 1200 年以上の歴史があり、日本の温泉の中で硫黄の濃度が 4 番目に高い温泉でもある。湯本ビジターセンターと日光自然史博物館は湖のほとりにあり、地域の季節の自然活動に関する最新情報を提供してくれる。